

特集

社会資本の 戦略的な維持管理 ～持続可能なインフラメンテナンス～

平成24年12月、中央自動車道笹子トンネル天井板落下事故が発生した。このような事故を二度と起こさないよう、国土交通省では、平成25年を「社会資本メンテナンス元年」と位置付け、取組を進めてきました。

一方、政府全体の取組として、平成25年10月に「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」が設置され、同年11月には、国民生活やあらゆる社会経済活動を支える各種施設をインフラとして幅広く対象とし、戦略的な維持管理・更新等の方向性を示す基本的な計画として、「インフラ長寿命化基本計画（以下「基本計画」という。）」がとりまとめられました。

この基本計画に基づき、国土交通省が管理・所管するあらゆるインフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中長期的な取組の方向性を明らかにする計画として「国土交通省インフラ長寿命化計画」が策定されました。これにより、新設から撤去までの狭義の長寿命化の取組に留まらず、将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるための取組を実行することを目指しています。

また、橋梁等は地方公共団体が管理するものが多いことから、地方公共団体に対して、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」等による財政支援や技術的支援を行っています。

今号の特集では「今後の社会資本の維持管理・更新のあり方」を概説するとともに、地方整備局・地方公共団体等における将来にわたって必要なインフラの機能を発揮し続けるための取組事例、地方公共団体に対して支援を行った事例について紹介します。

特集担当：森田 裕介
国土交通省 道路局 国道・技術課 企画専門官



橋梁、舗装の点検と診断できる技術者の育成を目的とした育成講座（本号P13～15「ふくしまME（メンテナンスエキスパート）」より）



CONTENTS

今後の社会資本の維持管理・更新のあり方	8
ふくしまME（メンテナンスエキスパート）	13
道路橋石橋（石造アーチ橋）の定期点検に関する技術資料の作成	16
道路メンテナンスにおける福井県の取り組み	19
砂防関係施設の老朽化対策	22
横浜市における公園施設の予防保全型維持管理	25
下水道施設のマネジメントサイクル確立と実践	28
港湾施設の老朽化対策の取組	31
水産基盤施設における維持管理	34
道路メンテナンスの地方公共団体支援	37